

予算確保 放課後児童クラブの

奥野 英介 議員
(鷹山／伊勢市選出)



放課後児童クラブは、
市町が熱心な保護者とど
もに費用の確保や人的配置など
に苦労しながら取り組んできて
います。

平成24年度
予算では市町



への説明が不
十分なまま、
市町が要求す
る運営補助金の所要額が確保さ
れておらず、市町との信頼関係
が揺らぐことにもなりかねませ
ん。市町との信頼関係という観
点からも今後の対応をお聞きし
ます。

答

厳しい財政状況のも
と、予算の確保に最後ま
で努めてきましたが、結果的に、
要望に十分応える予算額を確保
できませんでした。今後は、指
導員への支援を行うとともに、
事業推進に当たっては、市町に
丁寧に説明し、市町等との信頼
関係をしつかり構築しながら進
めていきたいと考えます。

○南部地域活性化局 ほか

関西との広域連携

北川 裕之 議員
(新政みえ／名張市選出)



平成22年に関西の7府
県の参画により関西広域
連合が発足し、関西での広域的
な取り組みは連合の事業で実施
されるようになるなど、連携を
強めています。

関西とのつながりの強い伊賀
地域をはじめ、本県にとつて重
要な関西との広域連携について、重
関西広域連合への部分参加を含
めた三重県の参加について、知事
の考え方をお聞かせください。

答
本県は関西広域連合参
加府県と連合に参加して
いない2県と共に関西での官民
連携に取り組んでいますが、関
西地域での広域連携は連合の事
業にシフトする傾向にあるのも
事実です。観光分野を例にとる
と、関西地域での広域的な取り
組みにより、一層の集客を図る
必要があり、連合への部分参加
について選択肢の
一つとして議論し
ていくことを全く
排除する必要はな
いと考えます。

○他の質問事項 ほか

肉用肥育子牛増産システム 構築事業

岩田 隆嘉 議員
(自民みらい／伊賀市選出)



松阪牛や伊賀牛などの
ブランドは、宮崎県など
の子牛産地に支えられており、
口蹄疫の発生で市場が休止され
た間は、子牛の確保に大きな影
響が出ました。

県は優秀な子牛
の安定的な供給を
図るために、今年度
から受精卵移植の
研究成果を生かし



受精卵移植により生まれた和牛子牛

今年度より県畜産研究
所の和牛から受精卵を採
取出して県内酪農家の乳牛に移植
を行うなど、平成25年度までに約
60頭の子牛が生産される予定で
す。加えて、優秀な血統の和牛子
牛の確保に向け、と畜牛の卵巣
を取り組むなど、肉用肥育子牛の
県内自給体制づくりにつながる
ようシステムの構築を進めます。

中央防災会議による 被害想定の検証

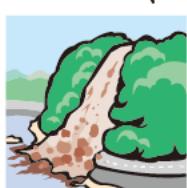
水谷 正美 議員
(新政みえ／四日市市選出)



①三連動地震のマグニチ
ユード8・7を想定した
地震被害想定調査の報告がさ
れていますが、今までの対策に
より、想定被害がどの程度減少
したのか伺います。また、②中央
防災会議の調査後に県が実施す
るマグニチュード9・0を想定
した被害想定調査では、県だけ
ではなく基礎自治体の地域別減災
効果がわかるようになります。

た被害想定調査では三連
動地震の発生により、県内では
最大で死者が約4,800人、建
物等の経済的被害が約3兆円と
推定していますが、これまでの
対策により平成22年度末で死者
約1,040人、経済的被害約
0・8兆円の減災効果があつた
と考えます。

新しい被害想定調査に対する
把握については、新地震対策行動計
画の策定時に検討
していきます。



○四日市港の地震・津波対策 ほか